＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ネクストハウス
グループの名称	南九州優良住宅推進協議会
直近採択グループ番号	06-0428-0793

（グループ代表者）

代表者名	大坪　真八　代表者印
代表者所属先	株式会社大成寺工務店
代表者所在地	鹿児島県南九州市川辺町平山3118番地
代表者電話番号	0993-56-1198

（グループ事務局）

事務局事業者名	図南木材株式会社
事務局担当者名	山?　弘樹　印
事務局郵便番号	891-0131
事務局所在地	鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2-4
事務局電話番号	099-262-6721
事務局FAX	099-262-6722
事務局担当者E-mail	yamasaki@tonan-lumber.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ネクストハウス
２．グループの名称(必須)	南九州優良住宅推進協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0428-0793
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島、福岡、佐賀
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	大坪　真八
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社大成寺工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県南九州市川辺町平山3118番地
９．グループ代表者電話番号(必須)	0993-56-1198
１０．グループ事務局事業者名(必須)	図南木材株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	山? 弘樹
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	891-0131
１３．グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2-4
１４．グループ事務局電話番号(必須)	099-262-6721
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	099-262-6722
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	yamasaki@tonan-lumber.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	6	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	6	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	15	
Ⅵ．施工	15	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	認証かごしま材	鹿児島	認証かごしま材認証制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		21	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	21	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		9	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	9	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	○協議会が施工事業者に対してヒアリングを行い、着工時期や商談の進捗状況を総合的に踏まえて補助の配分を行う。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	4	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
46	Ⅰ － 2	かごしま森林組合		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町平山6140番地1	0993-56-0079
46	Ⅰ － 3	霧島素材生産協同組合		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段401番地2	0995-54-8055
45	Ⅰ － 5	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	0986-36-3010
45	Ⅰ － 9	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
45	Ⅰ － 10	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
34	Ⅰ － 32	株式会社 ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
46	Ⅱ － 1	株式会社南薩木材加工センター		897-0133	鹿児島県南九州市川辺町下山田4228番地	0993-57-2667
46	Ⅱ － 4	株式会社西村		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段401番地2	0995-54-8055
45	Ⅱ － 6	都城木材株式会社		885-0006	宮崎県都城市吉尾町758-1	0986-38-1500
45	Ⅱ － 9	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
45	Ⅱ － 10	宮崎県森林組合連合会		880-0805	宮崎県宮崎市橘通東1丁目11番1号	0985-25-5133
34	Ⅱ － 32	株式会社 ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
14	Ⅲ － 7	ナイス株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
27	Ⅲ － 11	株式会社コシイプレザービング		559-0026	大阪府大阪市住之江区平林北2-9-145	06-6685-1911
46	Ⅲ － 12	図南木材株式会社		891-0131	鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2番4号	099-261-6116
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
40	Ⅳ － 8	ナイスプレカット株式会社　九州工場		803-0802	福岡県北九州市小倉北区東港2-5-12	093-591-2888
46	Ⅳ － 12	図南木材株式会社		891-0131	鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2番4号	099-261-6116
46	Ⅳ － 13	鹿児島県木造住宅協同組合		891-0131	鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2番4号	099-262-5112
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
46	Ｖ － 14	株式会社　建築工房匠		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿５－３０－２	099-264-2034	○	
46	Ｖ － 15	有限会社　木之下工務店		891-0133	鹿児島県鹿児島市平川町２５９－２	099-261-2592	○	
46	Ｖ － 17	KGホームプランニング		899-1601	鹿児島県阿久根市折口4220番地	0996-75-2950	○	
46	Ｖ － 18	株式会社大成寺工務店		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町平山3118番地	0993-56-1198	○	
46	Ｖ － 20	株式会社東宝建設		899-2704	鹿児島県鹿児島市春山町2731番地2	099-278-2748	○	
46	Ｖ － 22	富士建築設計事務所		890-0014	鹿児島県鹿児島市草牟田一丁目1番2号	099-223-3066	○	
46	Ｖ － 23	五領建築設計事務所		899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根696-7	0995-47-1829	○	
46	Ｖ － 25	有限会社大久保工建設計事務所		895-0013	鹿児島県薩摩川内市宮崎町2418-1	0996-23-8565	○	
46	Ｖ － 27	株式会社N.3建設　2級建築士設計事務所		890-0014	鹿児島県鹿児島市草牟田2丁目28-11	099-802-6561	○	
46	Ｖ － 28	株式会社粋家創房		899-2704	鹿児島県鹿児島市春山町1636-9	099-278-7003	○	
46	Ｖ － 31	有限会社オカモト都市設計		891-0103	鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3丁目59番8号	099-264-1174	○	
34	Ｖ － 33	株式会社　ウッドワン一級建築士事務所		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333	○	
46	Ｖ － 35	株式会社中池組　一級建築設計事務所		895-0064	鹿児島県薩摩川内市花木町7-11	0996-22-3451		○
46	Ｖ － 36	株式会社技建		895-0012	鹿児島県薩摩川内市平佐町1564	0996-25-2208	○	
46	Ｖ － 38	株式会社ZOU企画		890-0066	鹿児島県鹿児島市真砂町13-10	099-257-7274	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							15	○	○
46	Ⅵ - 14	80711	株式会社 建築工房匠		890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿5－30－2	099-264-2034	○	
46	Ⅵ - 15	80829	有限会社 木之下工務店		891-0133	鹿児島県鹿児島市平川町259－2	099-261-2592	○	
46	Ⅵ - 16	80755	株式会社古賀建設		899-1601	鹿児島県阿久根市折口4220番地	0996-75-2950	○	
46	Ⅵ - 18	80767	株式会社大成寺工務店		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町平山3118番地	0993-56-1198	○	
46	Ⅵ - 19	80807	富士住宅産業株式会社		890-0014	鹿児島県鹿児島市草牟田一丁目1番2号	099-223-3066	○	
46	Ⅵ - 20	80771	株式会社東宝建設		899-2704	鹿児島県鹿児島市春山町2731番地2	099-278-2748	○	
46	Ⅵ - 21	80736	株式会社ウッドペッカー		899-4343	鹿児島県霧島市国分野口西20-2	0995-73-8517	○	
46	Ⅵ - 24		有限会社大久保工建		895-0013	鹿児島県薩摩川内市宮崎町2418-1	0996-23-8565	○	
46	Ⅵ - 26	80734	株式会社N. 3建設		891-1204	鹿児島県鹿児島市花野光ケ丘2丁目17番地11号	099-228-1577	○	
46	Ⅵ - 28	80779	株式会社粋家創房		899-2704	鹿児島県鹿児島市春山町1636-9	099-278-7003	○	
46	Ⅵ - 29	80743	株式会社フツハラ		899-5241	鹿児島県姶良市加治木町木田3722-1	0995-62-8317	○	
46	Ⅵ - 30	80735	株式会社あいハウジング		899-2701	鹿児島県鹿児島市石谷町1868番地12	099-278-1111	○	
46	Ⅵ - 34		株式会社中池組		895-0064	鹿児島県薩摩川内市花木町7-11	0996-22-3451		○
46	Ⅵ - 36		株式会社技建		895-0012	鹿児島県薩摩川内市平佐町1564	0996-25-2208	○	
46	Ⅵ - 37	80832	有限会社ジョイフルホーム		890-0032	鹿児島県鹿児島市西陵2丁目3-1	099-283-6639	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
46	Ⅵ － 14	80711	株式会社 建築工房匠	8 戸	7 戸	7 戸	6 戸	2 戸	1 戸	4 戸	2 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ － 15	80829	有限会社 木之下工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 16	80755	株式会社古賀建設	10 戸	7 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 18	80767	株式会社大成寺工務店	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 19	80807	富士住宅産業株式会社	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 20	80771	株式会社東宝建設	5 戸	9 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	5 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
46	Ⅵ － 21	80736	株式会社ウッドペッカー	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 24		有限会社大久保工建	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 26	80734	株式会社N．３建設	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 28	80779	株式会社粋家創房	26 戸	20 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 29	80743	株式会社フツハラ	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 30	80735	株式会社あいハウジング	37 戸	21 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 34		株式会社中池組	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 36		株式会社技建	38 戸	35 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	8 戸	4 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
46	Ⅵ － 37	80832	有限会社ジョイフルホーム	4 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ネクストハウス	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島、福岡、佐賀
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）南九州優良住宅推進協議会	（結成年）2015　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0428-0793	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○寒暖差の激しい気候のため省エネ性能を重視して、断熱性能等級4以上とする。 ○台風、地震の対策として耐震性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○シロアリへの対策として、土台はK3相当以上の防腐・防蟻処理材または特定D1樹種（ベイヒバ、ヒノキ）を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	＜地域に合わせた住宅作りとして下記のいづれかを1つ以上取り入れる＞ ○地域材でもある杉材の調湿効果を活用し、押入内装の一部に使用する。 ○梅雨時期が長く、火山灰、黄砂などの影響により屋外で洗濯物を干しにくい地域のため、室内物干し設備を設ける。 ○湿気、火山灰、PM2.5等による室内の影響を改善するため、24時間換気の給気口にフィルターを設ける。	◎
④ ①～③の背景	○列島最南端に位置し温暖な地域ではあるが、冬場は降雪もあり年間を通じ寒暖差は激しい。 ○6月からの梅雨が長く湿度も高いため、シロアリの被害が多い地域である。 ○黄砂やPM2.5の影響を受ける地域である。また南部の桜島は年間を通じ噴火を断続的に繰り返し、場所によっては窓を開けられない・洗濯物を外に干せない等、日常生活に支障をきたしている。 ○台風の影響を強く受ける地域であり風水害も少なくない。将来的には火山性の地震・南海トラフ大地震も想定した耐震性への配慮が必要と考える。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○平成28年熊本地震を受けて、耐震性能に優れた金物を推奨する。 ○地盤調査の方法は地盤の強さに加え、土質も同時に分析できるスクリュードライバーサウンディング試験を推奨する。 ○九州の中小建築事業者が今後の省エネ義務化等、施策制度の変遷を乗り越え、事業継続のために必要な支援を行う。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○構造躯体の寸法を10.5cm以上の木材として規格統一する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○外皮性能やエネルギー削減率の計算、また必要な資料の調達を簡略化するため、協議会共通の標準仕様を選定する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○建材メーカーに協力をもらい、共通の標準仕様書を作成する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○建材流通業者が中心となり、建材・住器等の資材メーカーに対して価格の交渉をする。（資材のコストダウン）	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○標準仕様を選定することで、省エネ数値資料などの簡素化を図る。（外皮平均熱還流率、一次エネルギー消費量等）	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：○定例会を実施し、施工業者と建材流通業者で標準仕様の内容見直しを行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：○新製品の情報、国から発表される法改正や住宅の性能・基準に関する情報を収集し、協議会で報告することで構成員のスキルアップを図る。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：○瑕疵担保責任保険の施工基準にのっとり施工を行う。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：○住宅完成引き渡し直前に施主を交えて完了点検を行い、契約の不整合を防止する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：○共通の見積仕様を推進することで、顧客に対してのプランニング・見積提案のスピード化を目指す。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：○施工構成員が受注・施工した住宅で現場見学会（完成見学会・構造見学会）を実施。 ○協議会共通のパンフレットを作成しお施主様に案内する。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：○週休2日をとれるような工程管理を推進する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：○建設キャリアアップシステムの推進に取り組む。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：○施工事業者の社会保険加入状況の確認と全社加入を推進する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：○現場作業者に対して現場での安全な作業に関する講習を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○施工業者の施工レベルを向上させるために定期的な勉強会を実施する。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ネクストハウス	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島、福岡、佐賀
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）南九州優良住宅推進協議会	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0428-0793	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：○施工構成員が住宅履歴情報を管理・登録する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：○住宅履歴情報サービス機関（いえかるて等）を利用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：○住宅履歴情報サービス機関（いえかるて等）に登録したことが分かる書類を事務局へ提出する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：○1年、3年、5年、10年といった定期の点検を実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：○定期点検の際に長期優良リフォームの現況チェックシートを用いて点検し、補修を検討する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：○協議会事務局が毎年開催するイベントの中で実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：○協議会事務局が毎年開催するイベントの中で実施する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：○協議会事務局が毎年開催するイベントの中で実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：○運営委員会の中で維持管理検討分科会を設置し、維持管理のための体制作りや協議会としてのルール・やり方の統一化を図る。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：○相談窓口の協議会事務局が代替で点検・管理を履行できる施工構成員を斡旋する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			○南九州優良住宅推進協議会事務局を、住宅の維持管理・リフォーム相談・困りごと相談の総合窓口として位置づけ消費者からのニーズ・信頼に応えていく。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：○協議会事務局が中心に企画し、技術習得・スキルアップのための研修会を実施する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：○瑕疵担保責任保険の施工基準にのっとり施工を行う。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：○施工構成員の検査等で確認する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：○平成28年熊本地震をうけて、今後需要拡大が見込まれる耐震性に優れた住宅供給に備える。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：○将来的には高度省エネ型住宅においても耐震等級2以上の性能を備えた住宅供給に取り組む。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：○耐震等級2以上の住宅作りに必要な設計、提案力、供給体制について勉強会を実施する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：○協議会事務局より講習会開催日程・開催地等情報を入手し、情報として通知する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：○制御系HEMSや太陽光発電と連動した蓄電池導入のための研修会を実施する。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：○HEMSを活用しエネルギー消費量データを蓄積、既存住宅との比較検証を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			○協議会事務局が建材メーカー工場の見学ツアー等を企画し、製品知識を高めて、施工構成員が作る住宅の性能アップにつなげる。			○

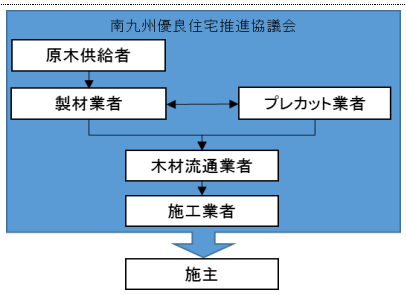
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ネクストハウス	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島、福岡、佐賀
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）南九州優良住宅推進協議会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0428-0793	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	下記の地域材を主要構造材（土台、柱、梁桁）のうち50%以上の割合で使用する。 ○合法木材証明制度（国内）の杉または桧 ○認証かごしま材認証制度の杉または桧 ○合法木材証明制度（国外）の米ヒバ ○強度のばらつきが少なく、構造材として安定した性能を発揮するﾗｼﾞｱｰﾀﾊﾟｲﾝLVL	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	 協議会内で原木供給から施工業者までが一体となり、十分な品質と安定した地域材の供給に努める。地域の特性を活かし、次世代の環境に適応した住宅を提供する。 ○使用する木材は（国内・国外）の合法木材、認証かごしま材または、強度のばらつきが少なく、構造材として安定した性能を発揮するﾗｼﾞｱｰﾀﾊﾟｲﾝLVLとする。 ○地域材供給の流れを把握できるように各業者間で出荷証　明書を添付し、材料を納める。 ※この図は一例であり、例外的に異なる場合がある。 ※合法木材の一部において産地・出荷者が特定できない場合があるが、構成員によるものであれば合法性の証明によって代替できる。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：○定例会を実施し、木材流通業者が在庫状況を報告する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：○定例会を実施し、木材流通業者が価格の変動状況を報告する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：○定例会の中で施工業者から直近の受注状況をヒアリングし製材業者に伝えることで在庫の確保に努める。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：○九州南部に分布するシラスを配合した塗り壁、瓦を検討する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：○シラスの塗り壁、瓦を検討する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：○和室の造作材には国産の桧や杉の使用を推奨する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：○グループ内で協議し、検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○熊本県のい草を使用した畳の活用を推進する。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	○施工構成員が開催する住宅現場見学会・感謝祭・イベント等で、施主来場記念品・家づくりご相談のお礼として、被災地の特産品やグッズなどを使用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	○協議会事務局が毎年開催するイベントで来場者からの募金を募る。また、イベントで販売した商品の売上金から一部を被災地等の募金にまわす。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ネクストハウス	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島、福岡、佐賀
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）南九州優良住宅推進協議会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0428-0793	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

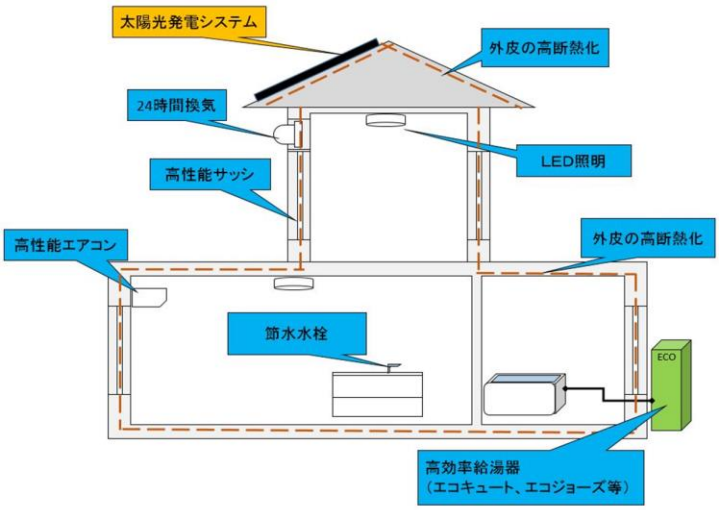
＜南九州優良住宅推進協議会が推奨する高度省エネ型住宅「ネクストハウス」＞
地域の特性を活かし次世代の環境に適応した住宅

＜ネクストハウス認定低炭素住宅の特徴＞
〇断熱等性能等級4以上
〇1次エネルギー消費量等級5以上
〇8項目の中から選択（木造住宅、節水型トイレ）
〇BELS認証の取得を推奨する。

＜ネクストハウス性能向上計画認定住宅の特徴＞
〇断熱等性能等級4以上
〇1次エネルギー消費量等級5以上
〇BELS認証の取得を推奨する。

＜ネクストハウスゼロ・エネルギー住宅の特徴＞
〇BELS認証取得
〇平成28年省エネ基準準拠
〇外皮平均熱還流率UA値0.6以下
〇太陽光発電システム導入
〇太陽光発電を除くエネルギー削減率（Ro）
　6地域：　22.1%
　7地域：　23.3%

＜ネクストハウス優良建築物（非住宅）＞
〇断熱等性能等級4以上
〇共通ルールに則して供給する。
〇BELS認証の取得を推奨する。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。